

GIS の活用 （工事箇所情報、災害時の情報等の提供）

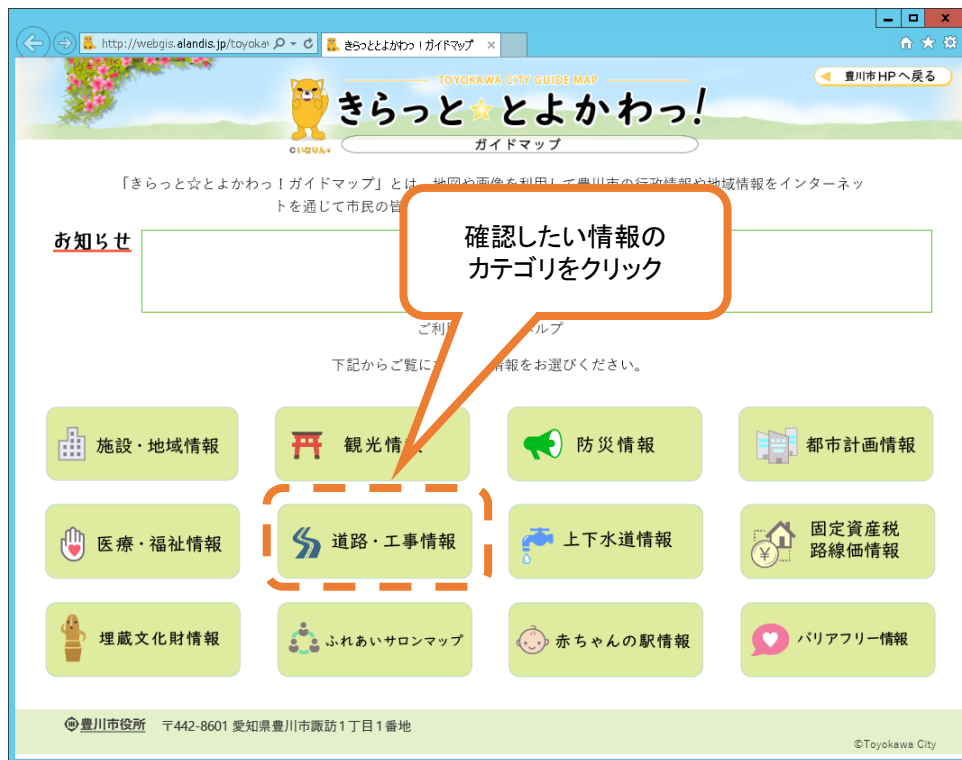
1. GIS とは （GIS の概要説明）

- （1） GIS とは、地理情報システムとも呼ばれ、**G**eographic **I**nformation **S**ystem の略称です。
- （2） 豊川市で管理している情報（道路、水道、都市計画、固定資産など）を地図と関連付けて、市民サービスや行政運営を効率的に行うことを目的としたシステムです。
- （3） 豊川市で利用している GIS には、大きく分けて3つの GIS があります。

職員向け	統合型 GIS	各部署で共通して利用する地図情報が搭載
	個別 GIS	専門的な業務に利用 （道路、水道、都市計画、固定資産等）
市民向け	市民公開型 GIS	市民の方に対して発信可能な情報を提供

2. 市民公開型 GIS のイメージ

(1) 市民公開型 GIS のトップページ



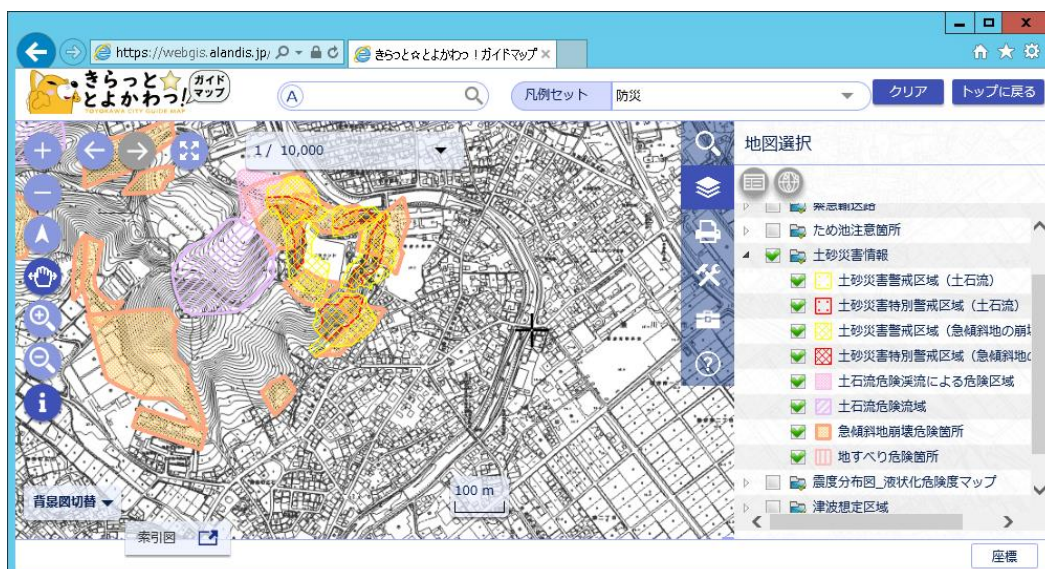
(2) 交通規制箇所



(3) 防災施設(避難所など)



(4) 土砂災害情報

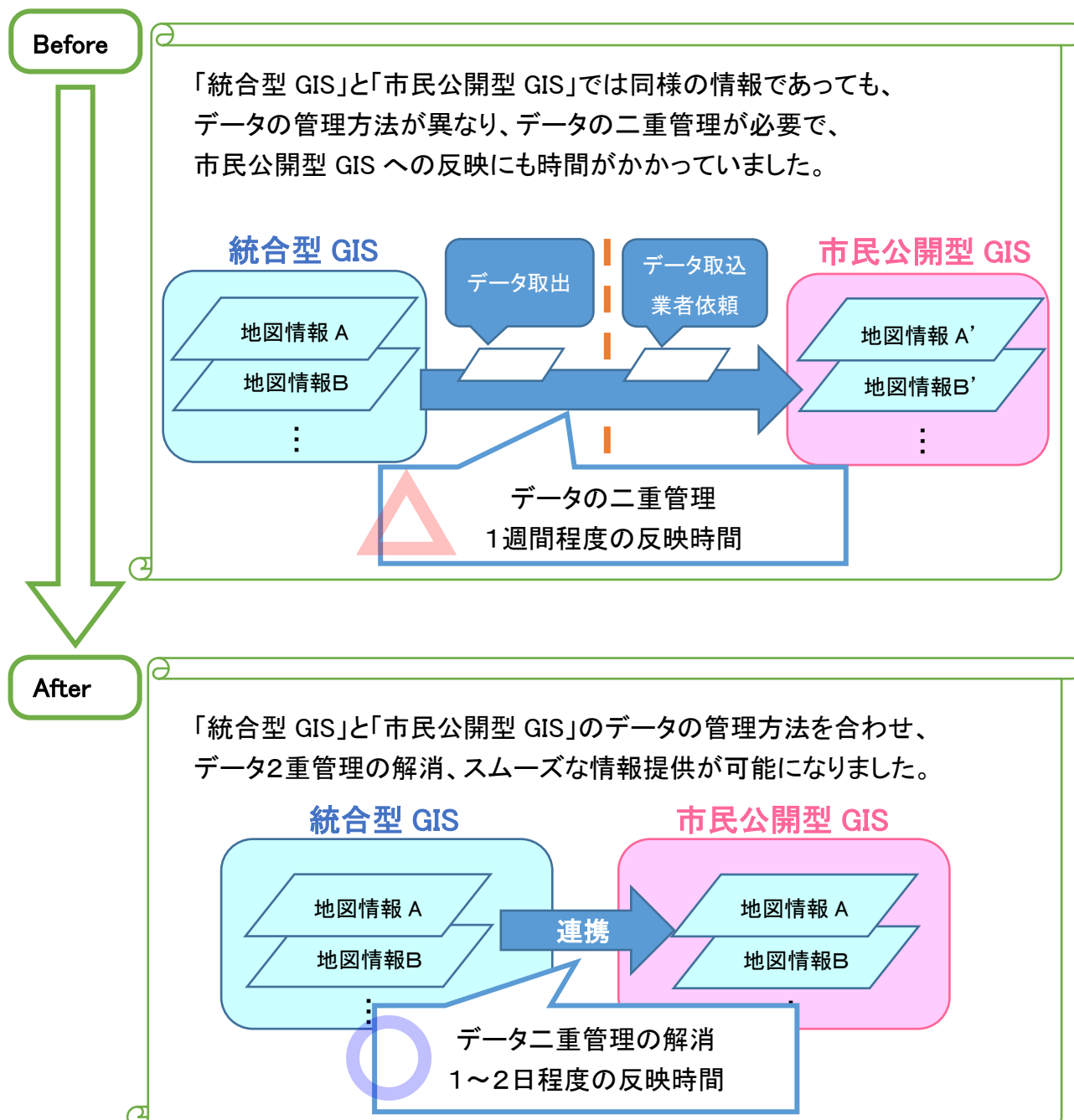


3. GIS の更新

従前の GIS の利用期間が令和元年度に終了するため、令和2年度に GIS を更新し、以下の改善を行いました。

(1) データの二重管理の解消とスムーズな情報提供

「統合型 GIS」と「市民公開型 GIS」で連携できるシステムを採用し、データの二重管理の解消やスムーズな情報提供を可能にしました。



(2) LGWAN データセンターの利用

従前の GIS は、豊川市役所庁舎内にサーバを設置しており、庁舎が被災した場合のリスクの回避やサーバの24時間監視体制等を整えることができませんでした。

今回のシステム更新でセキュリティの高いネットワーク(LGWAN)上で提供されるサービスを利用することで、災害時のリスクを抑え、障害時の保守性も高いシステムの導入を行いました。

